

(別紙4(2))

事業所名: グループホームくぬぎ

作成日: 平成 30年 4月 20日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	緊急時の持ち出しで入居者情報一覧には顔写真付きで、緊急連絡先・主治医の情報があるが、更に薬情や介護保険情報の追加が望まれる。	緊急持ち出し簿を見直し、万が一の緊急対応に備える事ができる。誰が見ても分かりやすい情報の共有が出来る様になる。	基本情報は、家族の連絡先、介護情報、医療情報、既往歴、アレルギー、禁忌等の状況の記載あり持ち出し簿に加える。又、薬情の最新版を追加する。	3ヶ月
2	35	消火器の設置場所を示す、表示ボードが低い位置にある。	グループホーム以外の職員や来館者でも、誰にでも設置場所が解る様に、大きい文字で、視線の高さを考慮し見やすい個所に表示する。	どの位置が見やすいか？場所を変えながら検討した。	1ヶ月
3	35	風水害に備えた、安全の確保をしっかりと捉えたい。	何度も訓練を繰り返す。	最新のはハザードマップを掲示する。 日頃から、避難場所やがけ崩れの場所などの情報を知ると共に、地域とのつながりを持つ。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。